基本計画書

		基		本		計		画			
事	項			記	入	相	Ą			備	考
計		研究科の設置									
フ 設		コウリツダイガクホウジ 公立大学法人福									
フ	リ ガ ナ	フクシマケンリツイカタ									
大	: 学の名称	福島県 在島県福島市光			f Graduate	Education, F	Fukushima	a Medical U	Iniversity)		
		学術の理論及び応	-		深奥を究め	、従来の学術を	水準に新	しい知見を力	加え、文化の		
大	学の目的	進展に寄与すると 実践能力を有する	ともに、医	学、看護学	及び保健科	学に関する研究	究を遂行				
新	行設研究科等の目的	保健科学の発展に 献することを目的	かとする。		専門職者を	育成するとと			告と発展に貢		
	新設研究科等の名称		編入学 定 員	収容 定員	学位	学位の分野	開設 び開記		所在地		
新設研究科等の概要	保健科学研究科 [Graduate School of Health Sciences] 保健科学専攻 [Program of Health Sciences]	年 人 2 16	年次 人	学 32 [M He	士(保健科 aster of alth iences]	保健衛生学リテン (イリンと関係を関係のである。) 保健衛生学リテン (イリコン) (イリコン) (イリコン) (イリコン) (イリコン) (イリカン)	第 条 令 和7 条 及 一	(組局) 10来(県福島市栄町 号	(基礎とない。 部) 保健科学部 14条特例の	3
	計	16	-	32							
変	(定員の移行, 名称の	該当なし		•							
教育	新設研究科等の名称	講義	開設す	る授業科目(実)	の総数 験・実習	計		修了要件	单位数		
課程	保健科学研究科	33 科目		科目	0 科目	66 科	目		30 単位		
	研究科等の	名 称			専任教員	 		助手	専任教員以外の教 員		
	T		教授	准教授	講師	助教	計		(助手を除く)		
新	保健科学研究科保健科学	兰専攻(M)	17	11	0	0	人 28	0	114		
設分			(17) 17	(11) 11	(0)	(0)	(28) 28	(0)	(114)		
	計		(17)	(11)	(0)	(0)	(28)	(0)	(-)		
既	医学研究科医科学専攻()	M)	人 18 (18)	人 1 (1)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 19 (19)	り (0)	人 67 (67)	医学専攻の 教員の一部 医科学専攻	3が、
	医学研究科災害・被ばく 攻(M)	医療科学共同専	8 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	58 (58)	災害・被は 科学共同専	
設	医学研究科医学専攻(D)		70 (70)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	76 (76)	0 (0)	148	兼務	. ,
以	看護学研究科看護学専攻	ζ (M)	11	5	6	0	22	0	0 (148)		
	看護学研究科看護学専攻		(11) 10	(5) 4	(6)	(0)	(22) 16	(0)	(0)		
分		((D)	(10) 117	(4) 16	(2)	(0)	(16) 141	(0)	(2)		
 	計		(117)	(16)	(8)	(0)	(141)	(0)	(-)		
	合 言		(134)	(27)	(8)	(0)	(169)	(0)	(-)		
	職種		専		人	その他	人		計 人		
	事 務 職	員		231 (231)		0 (0)		(:	231 231)		
	技 術 職	員		68 (68)		0 (0)			68 68)		
	図 書 館	職員		6 (6)		0 (0)			6 (6)		
	その他の	職員		12 (12)		0 (0)			12 12)		
	指 導 補	助者		0 (0)		0 (0)			0 (0)		
	計			317 (317)		0 (0)			317 317)		

	1										1	#	用する他の	II				垣 b 町 サン・ン
校			区	分			専	用 ————————————————————————————————————	共	用			校等の専用			計		福島駅前キャン パス(保健科学
地			舎				17	0, 943. 01 m ²			0 m²			0 m²			943. 01 m ²	部) 借用面積
等		そ 合		他計			45	285, 674 m ² 6, 617. 01 m ²			0 m² 0 m²			0 m² 0 m²			285, 674 m ²	3,000.01㎡ 借用期間30年
				PI			専	用	共	用	0111		用する他の	Om		計	, 011. 01111	旧加州可30平
		校	4	È			'1	72, 314 m²		/13	$0\mathrm{m}^2$	学	校等の専用	0 m²		н	72, 314 m²	
							(72, 3	314m²)	(0 m²)	(01	m²)		(7	2, 314m²)	
								養室	実験・	実習写	É		演習室			研究	科等の	
			新設研教 員 4												- 中仕	教 貝	研究室	
	′,	17		yı /L				13室			31室			0室			28室	
	如	∋n til o	:科等の	夕新	ra	図書 5 ち外[司事)	香	子図書	4	学術雑		電子ジャ	_+1.	機械・	器具	標本	
図	材	1又1リノ	1件守り	泊你	()) 57FE	当音」		ア凶音 外国書〕	()	うち外国	a音」 種	T. 1			点	点	図書は研究科単
書・			研究科		243, 50	00 [96,	885]	9, 50	0 [435]	7, 65	55 [3,0	30]	10, 178 [8,	612]	()	28	位での特定不能 なため、大学全
設備	科:	学専巧	修士課	:程		00 [96,) (9,500			55 [3, 0		(10, 178 [8,) (((28)	体の数
Pilis			計			00 [96, 00 [96,	-		0 (435) (435))		55 [3,0 55 [3,0		10, 178 [8, (10, 178 [8,		`)	(28)	
	\vdash			区	分	.υ (3 10,		開設前年度	第1年次	<u> </u>	第2年		第3年次	第4:	Щ,		55年次	
		経費	教員	1人	当り研	究費等			577∓	_	577	_	壬門		壬円	_	<u>手</u> 門	
経費	の	位見り			开究費				5,000千		5,000	千円	手 門		手 門		一 手円	研究科単位での
見積及び	維	惧り			購入費		_	55,087千円	61, 636 千		61, 636	_	壬円		手門	_	壬円	算出不能なた め、学部との合
持方の概	法要				購入費			41, 493千円	20,000千 第1年次		20,000 第2年		第3年次	第4:	壬円 年次	節	55年次	計
,,-	- ,			7	≥生 1 / 納付				818 千		536	_	手 門	×, 1	壬円	<u></u>	手 門	
		学:	生納付金	仓以外	の維持	方法の)概要	運営費	費交付金、氣	[収入	等							
	大	学	等の	名		福島県			ilm riv	1	244-	,	[p	BB ⇒n.	1			
	学	部	等の	名	竹 年		く学 E 員	編入学 定 員	収容 定員		学位ス は称号		収容定員充 足率		j	所 右	E 地	
					年	人		年次 人	人				倍					
		学部				6	130	_	780	学十	(医学)		1. 03	昭和27	福島県	県福島	市光が丘	
	1	学科				0	130		780	十上	(区子)		1.03	年度	1番地			
		護学部 護学科				4	84	-	336	学士	(看護学	学)	1.00	平成10 年度				
	保付	建科学	部			4	40		160	兴工	(理学療	を汗 学 /	1. 00					
	理:	学療法	学科			4	40		100	十工	(注于)	ス(ムナ)	1.00					
	作	業療法	学科			4	40	-	160	学士	(作業療	療法学)	0. 97	令和3	短 自 川	目短白	市栄町10	
	ラムマ	d= +4- ft	1.他到出	-æ)		4	0.5		100	学士	(診療が	女射線	1.00	年度	番6号		[[[]木叫] [[
	百多 1		 け線科学	·/+		4	25	=	100	科学)	(診療力		1. 00					
既	臨	末検査	[学科			4	40	-	160	学士	(臨床村	食査学)	1.00					
設大	別۶	科												令和5	福島県	具福島	市光が丘	
学等		産学専	攻			1	20	_	20	_			1.00	年度	1番地		. ,	
の		学院 学研究	2科医科	少声"	**	2	10	_	20	修士	(医科学	芝)	0. 65	平成20				
状況	(M)		111011	十寸:	×	2	10		20	沙上	(12/17 -	r)	0.03	年度				
														昭和36				
		学院 学研究	2科医科	学専ュ	汝	4	60	_	240	博士	(医学)		0. 92	年度 (平成				開設年度の下 段、()内は再編
	(D))												21年 度)				年度
	+-	学院												汉)				
	医:	学院 学研究			,	2	10	_	20		(医科学		0.90	平成28				コースにより学
		害・初 司専攻	モばく医 【(M)	療科学	子		10		20	,,,,_L	√ □ 此文 □	, ,		年度				位が異なる
		学院												ਜ਼ਾਦੇ∗∗				
		護学 研	F究科看	護学	專	2	15	-	30	修士	(看護	学)	0.66	平成14 年度				
	看:		f究科看	護学	專	3	2	_	6	博士	(看護学	学)	0.75	令和4 年度				
	攻	(D)												1 100				

(用紙 日本産業規格A4縦型)

教	育	課		程			鲁	È			の			相	旡	要
(㑇	(健科学研究科保健科学専攻)															
					単位数	ζ	授	受業形	態		基	幹教員	等の酉	2置		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)	備考
共通科目	先端医療と多職種連携 医療・研究倫理学 保健科学研究方法論 保健科学教育論 I 保健科学教育論 I 医療統計学 データサイエンス (画像系) データサイエンス (オミクス解析) 小計 (8科目)	1後 1前 1前 16 16 16 16 16 16	-	2 2 2	2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0	_		4 4	1				9 2 5 1 1 1 3 3	オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス +ムニバス (一部)
専門基礎科目	身体障害とリハビリテーション 精神障害とリハビリテーション 老年期障害とリハビリテーション 発達障害とリハビリテーション 生体画像情報学 分子情報解析学 放射線計測と防護 放射線病態影響学 臨床検査学最新技術論 生物分子の分析と探求 小計(10科目)	1前 1前 1前前前前前前前前前前前 1前		0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0			1 1 1 1 1 1 1 7	1 1 1 1 1 2				9	オムニバス オムニバス オムニバス・共同 (一部) オムニババス オムニババス オムニババス オムニババス オムニババス オムニババス オムニババス オムニババス
理学療法学領域科目	運動器障害学特論 運動器障害学演習 I 運動器障害学演習 I 神経・小児障害学特論 神経・小児障害学演習 I 神経・小児障害学演習 I 内部障害学演習 I 内部障害学演習 I 内部障害学演習 I 地域・予防学特論 地域・予防学演習 I 地域・予防学演習 I 地域・予防学演習 I	1前 1後 2前 1 1後 1 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0	00 00 00 00 1		1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 3	2 2 2 2 3 1 1 1				3 3 3 1 1 2 2 2	共同 共同 ボムニバス、 ボムニボイムニアイス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス
作業療法学領域科目	小計 (12科目) 生活機能障害作業療法学特論 心身機能作業療法学演習 I 心身機能作業療法学演習 I 活動・参加作業療法学演習 I 活動・参加作業療法学演習 I 小計 (5科目)	1前 1後 2前 1後 2前 一		0	24 2 2 2 2 2 2 10	0	0	0 0 0 0		3 4 2 2 2 2 4	3 2 1 1 1 1 2				7	オムニバス 共同 共同 共同 共同

科 目 区 分 医用画像情報工学	目の名称															
		配当年次	主要授業科目	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)	備考
	寺論	1前			2		0			1					1	オムニバス
医用画像情報工学学院 医用画像情報 工工学 管 医用画	東習II I I 扁 岡 I	1後前前後前前後前前後前前後前前後前前後前前後前前後前前後前前後前前後前前後前			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0 0 0 0	00 00 00 00 00		1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 3 3	1 1 1 1 1 1 1				1 10 2 2 11 1 1 9 1 10 1	オナ共共オ共共オオオオオオカム同同ム同同ムニニンババススリーニングルン・ニニングルン・ススススススススススススススススススススススススススススススススススス
小計 (15科目)		_	-	0	30	0		_		5	3				34	
臨床病理学特論 臨床病理学海習 I 臨床病理學物学演習 I 臨床微生物学演習 I 臨床微生物学演習 I 臨床做生理検查查學 臨床床生理機檢查查學 臨床床生性機檢查查學 臨床 在血液 一次	I A B	1前後 1前後前 1前後前前後 1前後前前後前前後前一 1後一 1後一		0 10	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 2 2 2 2 2 3 11 11				1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 7	オ共共 オ共共 オ 共
合計 (66和	斗目)	_	-	16	124	0		_		17	11				114	
学位又は称号				学	位又	は学科	の分	野	保健衛	新生学 (手:##	関係(リハヒ	ゴリティ	ーショ	ン関係	・ 保健衛生学
卒業・修		+ 及	び	履	修	方	法		渕栄	(有護	子) (分)		と と と と と と と と と と と と と と と と と と と		ンヨン	/関係を除く。)
<修了要件> 修士課程に2年以上在 必要な研究指導を受け	E学し、所定の授業	美科目につ	いて30	単位じ	, <u>-</u> 人上を	修得l			年の学	些期区:	分		24114	•		2学期
<履修方法> ・共通科目は、必修系 ・専門基礎科目は、4			を修得す	⊨るこ	と			1学	期の授	受業期	間					15週
・各自の専門領域に成 「診療放射線科学領域 選択し、同一分野のな ・特別研究は、10単位	成科目」「臨床検査 持論と演習を含む6	至学領域科	目」の	4 領域	なから			1時	限の授	受業の	標準時	宇間				90分

	授	業	科	目	Ø	概	要	日本工業規格A4 紙型)
(保健科学研究科保健科学	学専攻)	主要授業	<u> </u>					
区分 授業科	目の名称	科目			講義等の内容			備考
共通科目 先端医療と多	職種連携		保健医療分れである。 (オムニバス方式)(② 三年度 (10 久保 費 3 人) 1回)(57 須 野 8 藤野 8 人) 1回)(57 須 野 8 藤野 8 人) 1回)(57 漢 野 8 藤野 8 入) 1回)(57 漢 8 藤野 8 入) 1回)(58 藤野 8 入) 1回)(59 阿 8 本) 1回)(59 阿 9 阿 9 阿 9 阿 9 阿 9 阿 9 阿 9 阿 9 阿 9	わまでいた。 おおり おおり おいま をいま ないま な	TPSの TPS TPS TPS TPS TPS TPS TPS TPS TPS TPS TPS TPS TPS TPS TPS TPS TPS	先来焦手でのとう は 課題 を という は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	を 通門 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	オムニバス方式
医療・研究倫	埋字		研究者や (本) を	元つ手会加にを ・	と が は は は に は を 上 を 上 を 上 を 上 を 上 を 上 に に に に に に に に に に に に に	求社で学医深研 を責えく医倫、行動 を責め、行動 を関いて、 を開いて、 を開いて、 を関いて、 を可い、 を可いて を可いて を可いて を可いて を可いて を可いて を可いて を可いて を可いて を可いて を可いて を可いて	る。るる。 そしてを理行全を でのでのででででででででででででででででででででででででででででででででで	オムニバス方式

R健科学研究科保健科学専攻)	授 第	美 科	目	の概	要	
科目 区分 授業科目の名	新 主要授業 科目	É	講	義等の内容		備考
保健科学研究方法計		では、バ研習に対して、	: 臨床発・ ()	ルに完全では、	をもった臨床家になる トカム指標)	オムニバス方式
保健科学教育論 I		担う立場になるに している。具体的 うテーマのもと、	こあたって、教育者。 内に、本科目では「F	としての資質・能力 医療従事者に関わる 学・教育方法学の基	療法士等が将来教育を を高めることを目的と 教育理論と実践」とい 礎理論について学修を 模擬実践を行う。	
保健科学教育論Ⅱ		担う立場になるに している。具体的 もと、人間の発達	こあたって、教育者。 りに、本科目では「)	としての資質・能力 人間の発達と教育・ めるとともに、胎児	療法士等が将来教育を を高めることを目的と 支援」というテーマの 期から老年期に至るま 察を深める。	
医療統計学		科目では、実際に 計学的な考え方と する。各回2~3	二調査、実験を計画ご統計手法の適用、	し収集したデータを 解釈上の留意点につ ハ、臨床試験や観察	極めて重要である。本解析する上で必要な統 解析する上で必要な統 いて実例を用いて解説 研究におけるデータの 技術を習得する。	
データサイエンス	(画像系)	習」を学示と、 (本条件的) を学情報で、 (本条件的) が、 (特別で、 (本条件の) で、 (オムニバスカラ) (40 高論、データサ) (62 松山江里/2) (63 近藤世範/4)	りに学び、それらを りには、データサイ: データの倫理、科学 一プラーニング)に -プラーニング トに ・スペのデータサイ: 活用方法、各種技行 (/全15回)	医用画像データの 一タの データの データの 大会的加工 データするに で一習するにことが でいての でいての でいての でする でいての でする でいての でする でいて でいて でが でが でが でが でが でが でが でが でが でが	統計学」と「機械学のように活用をと続けている」と「概様でいる」とで、とて、一般ででは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、と	オムニバス方式

	授	業	—————————————————————————————————————	目	Ø	概	要	
	学研究科保健科学専攻)							1
科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
	データサイエンス (オミクス 解析)		近年の保証を付置する。	医の現している。 現し、と方 のでは、とうこ のでは、とうこ のでは、とうこ をとと 5回 ののが、いいの をとと 5回 ののでは、とうでは、からでは、とうでは、とうでは、からでは、からでは、からでは、からでは、からでは、からでは、からでは、から	世々スト は大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	つーこ的 オお 解のよ考 シマで 本のなま シマで 本のなま シマで 本のなき シマで 本のなう 大の一 をを表 があり 大の一 をを をを をを を を を を を を を が の が の の の の の の の の の の の の の	これにない様に にない にない にない にない にない にない にない にな	オムニバス方式、共同(一部)
専科	身体障害とリハビリテーション		本科している。 (3) 体係のできるとと地方で理解方式をといれている。 (4) ないない (4) ないないない (4) ないない (4) ないないない (4) ないないない (4) ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	リア・リー・ () () () () () () () () () () () () ()	で新春 かり コン (評	選を対め 一ョ ・ 治 寮 ・ 治 済 寮 能の 大 で 大 で 大 で 大 で で 大 で で 大 で で で か か か か	 こ 後で 方 こ り す こ り す こ り ま い は い り い り い り い り い り い り い り い り い り	オムニバス方式

授	業	————— 科	目	0	概	要	
健科学研究科保健科学専攻)	主要授業科目	・ 精性 は	中障害を生物学的、 一下での新くとなった。 一下のののののののでは、 一下ののののののでは、 一下でのののののでで、 を思いて、主いて、 を思いて、主いて、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	講義等の内容 や注意では、している。 本の内容 ・ では、している。 を表している。 をましている。 を	例側面から提要型摂りのため診知症や科技のために必要型摂りのため診知症や科技にある。 精神(ごり) アイ・コーション (認知症)	え、リハビリテーの ま精神医療法の 実法の 実達書をデーてきた をでいまました。 をでいまました。 をでいまました。 をでいまました。 をでいまました。 をでいまました。 をでいまました。 をでいまました。 をでいままた。 といままた。 をでいままた。 といままた。 をでいままた。 といまた。 といままた。 といままた。 といままた。 といままた。 といまたる。 といまたる。	備考オムニバス方式
老年期障害とリハビリテーション		し、教授・テント は、 現代する一き、 は、	大/全15回) Gけるリハビリテー (回) P防活動の変遷、 (回) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (Eり方について E とめを通して E と めを通して E と がを 基 が エ が で を 基 が リテーションの T Occupation Jastice) と 下 共同)	では、	・社会的な側面よりある人に対する人に対する基盤 で発展のための基盤 で関病と老年症候群 で対して、対象を表する。 では、対象を、対象を表する。 では、対象を、まを、まを、まを、まを、まを、まを、まを、まを、まを、まを、まを、まを、まを	オムニバス方式・同 (一部)
発達障害とリハビリテーション		よで作品を は、	バ変化するため、(を をやで書の特性を表 と・作業所は、 に、(全15回) 可) の 取り、(大/全15回) 可) を取り、(大/全15回) で) が、(大/全15回) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) を取り、(大/全15回) で) をない。(大/年) で) をない。(大/年) で) をない。(大/年) で) をない。(大/年) で) をない。(大/年) で) をない。(大/年) で) をない。(大/年) で) で) で) で) で) で) で) で) で) で	別的的た上で 理解的した 性に は に に に に に に に に に に に に に	支援が必要。 リハに、といい。 受技術につついる 受技術についる を発達症(障法・ を発達素・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ーションの専門職 デンスに基づいた て学ぶ。 書特性)、神経発 士が担うべき役割 ーム・アプローチ 天性の中枢神経系 学療法士が担うべ	

		業	科	目	0	概	要	
(保健科学	学研究科保健科学専攻)							
科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
	生体画像情報学		近年の医療原画像保工限の医療原画像保工限の医史を利して変換を利用と解析・トレンパス方式(24 五月女康作/74 町田好男/21(75 杉森博行/11(76 田中利恵/21(77 山崎誘三/21(73 茅野伸吾/11(134 田代雅実/1(54 山品博子/21(154 山品博子/21(154 世子/21(154)))))	の研究を始める学 の確床応用像で に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	5際にことはにのファントを受けたとはにのファントを受けた。 という を しょう を から を という を から を と から を から を	原理を学ぶことの種を生み出て 可像、MRI、CTC 可像、MRI、CTC 可像、大力で成技術 大力で成技術 、作成技術 、本作成技術 スと基本原理 の基本原理	す上で重要なこと ク開発から現在ま 支術、画像処理技 や新たな画像化技	オムニバス方式
	分子情報解析学		とことを薬が失います。 とことを変化の影指の出見に、変の影指の出見に、一切の開発を薬法がより、 (オム 上の) は、 (11 長の) は、 (11 日本の) は、 (11	と、またへのなかのなかでは、と、治にとしたを発生を変しまた。 (人としたを提供を変します。) (大としたを提供を変します。) (大全15回) (3回) (3回) (3回) (3回) (3回) (42e) (42e) (42e) (42e) (4e	を化る受を付いた。 を担とをやする品の をこなを検げた。 をとをやする品の があるですがした。 ととのとのは、 があるですがいますが、 の全をのは、 があるですが、 のをは、 のをは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	法を学ぶ。自然を学ぶ。自然を学ぶる分子での分子でででである分子ででである。 こう なんじん でき はいい ない はいい ない はい	となる。具体的に達 か生体内情報気性 見用されている方 に対するプローブ た前臨床研究 に製造 ジング研究 に用	オムニバス方式

		授業	科	目	Ø	概	要	
保健科学	学研究科保健科学専攻)	T	T					T
科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
	放射線計測と防護		ら積算型線・量子を ・積算型線・大量 ・表に、小のでは、が、では、 ・では、からでは、では、では、 ・では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	スペクトロのメーロング (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	ータをと価法の場所により、 には、これでは、 には、 には、 にないは、	量評様また体体 法要、 と可能を を形形で を形形で を形形で を形形で を形形で を形形で を形形で にいた、 、	様々な環境における	
	放射線病態影響学		ながら腫瘍への治療法をはじめとし (オムニバス方式 (23 佐藤久志/12 放射線治療総計器の進歩によりず	台療効果を上げる した併用療法についた (全15回) (一回) 倫、古典的放射線 可能とないル児への かによる、小児への かにズム、FLASH 国)小線源治療の 国)生物学的放射	るために必要な対 のいて学ぶ。 泉生物学、分子/ 原技術線治療、 が対線 が対線 が対線 が対線 が対線 が対象 が対象 が対象 が対象 が対象 が対象 が対象 が対象	放射線治療技 生物学的放射 曽感剤の開発 放射線治療に 」 ・ 法論	織への影響を下げ 術の開発や、免疫 線生物学、治療機 、粒子線治療の進 おける品質管理、	オムニバス方式

	授	業	科	目	の	概	要	
保健科学	学研究科保健科学専攻)							
科目 区分	授業科目の名称	主要授業 科目			講義等の内容			備考
	臨床検査学最新技術論		(87 河原明彦/1回 (88 八鍁恒芳/1回) (89 柿坂庸介/1回) (44 松田希/1回) (90 大楠清文/2回) 術	With That The	及とのとからとおいて、	分域の表 を で と に	の先進計制機器の 術向上は が構動は には の構向めには には の構動が には のに には のに には にな にな にな にな にな にな にな にな にな にな	オムニバス方式

		業	科	目	0	概	要	
(保健科学	全研究科保健科学専攻) 	•						
科目 区分	授業科目の名称	主要授業 科目			講義等の内容			備考
	生物分子の分析と探求		常性の(は生活)、(は生活)、(は生活)、(は生活)、(は生活)、(は性)に動からでの(は生活)、(は動)を表現がで生体に関うでのが、場から、(対して)の(対し、(対して)の(が)の(が)の(が)の(が)の(が)の(が)の(が)の(が)の(が)の(が	習ま内に子つ一内い 「大い症性のルム疾症の一内い 「大い症性のルム疾症の一内い 「大い症性のルム疾症の一方」 「大い症性のルム疾症の一方」 「大い症性のルム疾症の一方」 「大い症性のルム疾症の一方。」 「大い症性のルム疾症の一方。」 「し」」 「し、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ	神紀で 神紀で 神紀で 神紀で 神紀で 神紀で 神紀で 神名で 神名で 神名で 神名で 神名で 神名で 神名で 神名	ど組 研めとなの 包集 りょう メンシ な 大 ク 、	の分・上で表して かった。 がった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 は。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 は。	オムニバス方式
理学療法 学領域科 目	運動器障害学特論		運動器系の病態 能回復の具体的方気 読・まとめを通し 握し、評価・治療打	策について理角 て、最新の運動	¥できることを目 効器障害に対する	的として、[理学療法の†	世界的な動向を把	共同
	運動器障害学演習 I		運動器系の病態。 能回復に関する研究 の機序、及び運動 法学的手技を教授 究にどのように発展	究を理解するこ 器障害の予防・ するとともに、	Lとを目的として 治療のための機 それらをリハビ	、運動器系の 能回復に関	して必要な理学療	共同
	運動器障害学演習Ⅱ		運動器系の病態。 能回復に関する研究 器系の病態と機能 に関する研究の方法	究を理解し、実 障害の機序、及	E施計画を立案で なび運動器障害の	きることを	のための機能回復	共同
		V	1					1

(根 加利)	授 (学研究科保健科学専攻)	業	科	目	Ø	概	要	
科目区分	子研究科保健科子専攻) 授業科目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
	神経・小児障害学特論		学景にから、	影響では、	病無能性の () () () () () () () () () (台寮に 会療に 大の用で の用で の用で の用で の用で の用で の用で の用で	るよう感がでいた。 ・ためで、 ・ためで、 ・ためで、 ・での学覚機・ ・での学覚機・ ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・でいる。 ・での学で、 ・でいる。 ・での学で、 ・でいる。 ・での学で、 ・でいる。 ・での学で、 ・でいる。 ・での学で、 ・でいる。 ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・での学で、 ・でのでので、 ・でのでので、 ・でのでので、 ・でのでで、 ・でのでで、 ・でのでのででのででのででのでででででででででででででででででででででででで	オムニバス方式・共同(一部)
	神経・小児障害学演習Ⅰ		変遷を学ぶていたと、変で変遷を学がないと、変で解析に基治療では、主治療では、生活療ができた。 でいた カース は、 19 阿の 解析 果の は、 (19 阿の 解析 果の が、 (19 阿の 解析 果の が、 (19 阿の 解析 果の が、 (20 楠本泰士・1	・ら学へ技術の大きな授い。 ・分学の大きな授い。 ・分学の大きな授い。 ・分学の大きな授い。 ・大きのでは、まりでは、大きのでは、たらいは、たらいは、たらいは、たらないは、た	背景にある病では、	態の解明につたい。 原の解明につたい。 の変極神経経を相談と でいたのなでは、 をいたのなでは、 をいたのなでは、 をいたのなでは、 をいたのないでは、 は、は、 は、は、は、 は、は、は、 は、は、は、は、 は、は、は、は、	て教授する。神経の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の	オムニバス方式・共同 (一部)
	神経・小児障害学演習Ⅱ		実所と対している。 大社会発 から で は から で は から で が い 前 術 の 用 が が い が から で が い が から で が い が が い が が い が が い が が い が が い が が い が が い が が い が が が い い が い い か い い か い い か い い か い い か い い か い か い か い か い か い い か い か い い か い か い い か い い か い い か い い か い	の学に開来のは が学に関来を がまました。 は動実と を表表する がは、 がでは、 は、 がでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	態端に対対線の解明に対対線の解明に対対線についてで、	ナた脳画像解経計 受すを思うな表現を を受ける思うな表現を を受けるとでは を受けるとでは を受けるとでは を受けるとでは を受けるとでは は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	里学療法学に基づ 到定としてのデジタ 育に、ICTやデジタ 療法を用いた歩行 見し、更なる最新 端の知識の学習、 用いた解析(最先 面の実施、解析結	オムニバス方式・共同 (一部)

		 業	———————— 科	目	Ø	概	要	
(保健科学 科目 区分	学研究科保健科学専攻) 授業科目の名称	主要授業科目		큵	構義等の内容			備考
	内部障害学特論		の内部、大田 (13 大田) 一覧の内部、大田 (13 大田) 一覧の (13 大	6回) 床患・がん患者・複 (評価方法・治療 4回) 骨臓疾患の理学療法)課題の議論) そ/2回) 弁療法について(評 ・132 佐藤聡見・15 計論	療全般についた。 (イン・経験についた。) (イン・経験についた。) (イン・経験についた。) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	て文献のためをを ・ に読・基握授 ・ はいのかのかのかのでは、 ・ はいのでは、 ・ はいのでは、	習まとをがら、 とこの を通いる を という	オムニバス方式・共同(一部)
	内部障害学演習 I		とない。 は の は の は の は の は の は の は の は の は の は	(自回) 急性期、回復期・維 等を併せ持つ患者の (の議論) (4回) 急性期、回復期・維 (4回) (4回) 急性期、回復期・維 (4回) (4回) 急性期、回復期・維 (4回) (4u) (4	を最新の文献。 学療法研究には ドラスティンを行う。 学療法インを行う。 学療法の演習研究に ・ が演習研究に ・ ・ ・ ・ ドラ演習研究に ・ ・ ドラ演習研究に ・ ・ ドラ演習研究に ・ ・ ドラ演習研究に ・ ・ ドラ演習研究に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		オムニバス方式・共同(一部)
	内部障害学演習Ⅱ		端連るにの手ま (3 ガ復文 代表 で 13の 関係	た/全15回) 6回) 呼吸器疾患(急性期・複数の内部障子・治療手技・デー 4回) 急性期、回復期・維診で(英語論文抄部 そ/2回) 地域在住者の理学療 解析方法についての 132 佐藤聡見・1:	運動を生理学が支持を はいかく はいかく かいかく はいかく かいかく かいかく かいかく かいかく	手結果が生行 ・学て 保・ 大め行す際タ ・ない法議 期ー 読 大め行す際タ ・水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	基は () を (オムニバス方式・共同 (一部)

	授	爱 業	科	目	<i>o</i>	概	要	
科目 区分	科保健科学専攻) 授業科目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
	· 予防学特論		保健・医療・ロハー・アリカス (2 実践る。通識をとめのでは、大力のでは、かりのでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力では、大力では、大力では、大力では、は、大力では、大力では、大力では、	て科学領域に連ずいからで、 大学・子にも回り 大学・子にも回り 大学・子にも回り 大学・子にも回り 大学・子にも回り 大学にはのカラブ 大学にはのカラブ 大学にはのカラブ 大学にはのカラブ 大学にはいからのでは、 大学にはいからいた。 はいますいからない。 大学にはいからいた。 はいますいからない。 はいますいからない。 はいますいからない。 はいますいからない。 はいますいからない。 はいますいからない。 はいますいからない。 はいますいからない。 はいますいからない。 はいますいからない。 はいますいからない。 はいますいからない。 はいますいがらい。 はいまないがらい。 はいまないがらい。 はいまないがらい。 はいまないがらい。 はいまないがらい。 はいまないがらい。 はいまないがらいがらいがらいがらいがらいがらいがらいがらいがらいがらいがらいがらいがらい	ETONIE TONIE TON	予イ技動の 発 的 防活動 学 する学際 かか 一学 で る ー学 で ー ー学 で	学文献盤を形して り・するに を形して かながら、地域に について が活動について で活動について で活動について でである。	オムニバス方式
地域	₹・予防学演習 I		生活効果についる。発見の地域証についるが、対の検インでは、	ついてがまますー// 文献のか、ままで行っていてが表示のからです。 全は15回) マイン でで、まな、美の変では、で、まな、美の変では、アートは、 で、は、な、美の変では、アートは、で、カードは、 で、は、な、大きな、で、は、ないでは、ないでは、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	レ形式最新に 大い、 大い、 大きを で 大きを で 大きを で 大きを で 大きを で 大きを で 大きを で 大きを で 大きを で 大きを で 大きで 大きで 大きで 大きで 大きで で 大きで 大き	討論計画 計論計画 計画 計画 計画 計画 計画 計画 計画 での において にがいて にがい にがいて にがいて にがいて にがいて にがいて にがいて にがいて にがいて にがいて にがいて にがい にがいて にがい にがい にがい にがい にがい にがい にがい にがい	生自身が国内外た は自身が握するたか。 は一般では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	オムニバス方式、共同(一部)
地域	・予防学演習Ⅱ		生きない新先生のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、最大のでは、またのでは、一般のでは、	て、で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	左案、 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	施のすを研 結 岡究(ビ防防、 計のすを研	の過せた。 の過程を放っています。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	オムニバス方式、共同(一部)

		 業	 科	目		概	要	
(保健科学	^全 研究科保健科学専攻)							
科目 区分	授業科目の名称	主要授業 科目			講義等の内容			備考
	生活機能障害作業療法学特論	ATH	者にて作いるという。 オリスののにない はいます はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな	の改規では、 をとれずと、 をとれずと、 をとれずと、 をは、 をに関関のと、 が、 能に、 をに、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 をに、 で、 で、 をに、 で、 をに、 で、 で、 をい、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	としたりでする。 としたりでする。 としたりでする。 のでは、 ののでは、 ののでは	。活と立作」 ・	に無点を当工で、 に無点を当工での、 とや認知なでの、 を特機は特別する を持続には特別する とき・参加」に関する とをが、 生活機能との関 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	オムニバス方式
	心身機能作業療法学演習 I		の関連や心身機能 作業療法等に関す	障害が作業に る研究手法に 心身機能障害 試 レビューの	与える影響、心身 ついて学習する。 と作業療法に関す 演習・討議を通し	·機能の回復/ ·る研究テー· ·て、既知と	マについて、文献	共同
	心身機能作業療法学演習Ⅱ		の関連や心身機能 作業療法等に関す	障害が作業に る研究手法に 心身機能作業 演習、研究デ	与える影響、心身 ついて学習する。 療法学に関する研	·機能の回復に ·究テーマに [・]	ついて、測定尺度	共同
	活動・参加作業療法学演習Ⅰ			業に与える影 ては、活動や の文献レビュ 手法を教授す	響について、その 参加と作業療法に ーを通して、既知 る。さらに、討議	基本的な研究 関する研究 と未知の研究	究領域を明確化す	共同
	活動・参加作業療法学演習Ⅱ			業に与える影 ては、活動や 解析方法、測	響について、その 参加と作業療法に 定機器の操作、研	応用的な研究 関する研究 究計画を立	案する手法を教授	共同

	授	業	科	目	の	概	要	
科目 区分	学研究科保健科学専攻) 授業科目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
診療放射 線科学 域科目	医用画像情報工学特論		診断支援システム [*] の理解を深める。 (オムニバス方式/ (9 高橋規之/10回	去とその応用を まとその応用を まとその応見 までは までは をはは (全15回) (全15回) () () () () () () () () () ()	と学ぶ。また、E3 よる画像診断を支 まる画像診断をいま をの先端皮がいる を を の先端皮が の 最 と の た の た の た の た の た の た の た の た の た の	医用画像分野 を接する知的 からこの分野の 介し、コント かし、知能技	における人工知能 システムの構築方 最新情報を得るた ニュータによる画像	オムニバス方式
	医用画像情報工学演習 I		医用画像情報工学 を発力を持っている。 を発力を持続されている。 を発力を持続されている。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を用いて、情報 利画像によいてにおよって はこことれいること を研究した知り	根理論・画像工学 カラン 医用画像工学 で、医用画像 で、医子会発表、 でで、医用画像の でで、医用画像の	・・画像処理 を動支援等で 服学特論での 論な理と認識 の処理と認識	関する国内外の文 講義内容の理解を るための技術を習 を実践できる知識	
	医用画像情報工学演習Ⅱ		像処理と機械学習の 「Python」の基本 ルタリング)を通して 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	のスキルを習れ のスキルをで につい 機械学習とたの」 が、「Python」 がする画像処理 (全15回) () () ()	导する。具体的 け、画像処理技行 の評価・検証ロッ を使ったプロを機械学習を 理と機械学習を ython」、画像即	には、プログ 所(画像の取 まを習得する パラミング 且み合わせた	得と前処理、フィ 。この科目では実 キルを向上させ、	オムニバス方式

授 健科学研究科保健科学専攻)	業	科	目	Ø	概	要	
月目 区分 授業科目の名称	主要授業科目		į	講義等の内容			備考
医用画像科学特論		学定すとすし (「 要	ない。 ないでは、 な	全学中なら方 を学りなら方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 を持っならう方 で、としているでしていいででは、いいでいいででは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは	そつ表臨のい 学教 し 外 総心 気す 気 気す点。 及研 核 核の工宗床生で 的授 て 線 論と 典。 典 鳴ると び究 医 医生活及成理 見す 最に なと 典。 鳴 鳴と相 近若 学 学成的等び原解 地る 新 関 教た や を や共違 礎法 や やになに臨理を か。 の し 授様 智 中 線に点 研に 磁 磁 磁 なりょう ま つ り り し り し し し し し し し し し し し し し し し	理い研診的 教た 見 最 が 新 大 い で 所 の を を も 数 た り し り し り し り し り し り り て り で り り り り り し り り り り り り り り り り り り	オムニバス方式
医用画像科学演習 I		画像診断技術を月の測定技術や画像を技術や画像を技術や画像を表生にその解するとく研究所ででいる。 に 転気 無明 かい まっと は いい は	1.理・解析手法(2. 所 2. 所 2. の設定を行いる 3. で 3. で 3. で 3. で 4. で	こついて、基礎 などについて、基礎 研究計画書を作 造・機能等の測 かた測定・空き	的な論文を割論文を表論する。 にないなる。 で法について では関する	み解き内容を理 て、自身の興味 学修する。X線、 資文を収集・抄読	共同
医用画像科学演習 Ⅱ		画像診断技術を月 回測定技術やの計 例測定技術やの計 の測ま等を演習 I でが 修する。議論な子を 解析、 意含めて全体で が が を表 して 対 の 表 に 計 に 計 が や の で が を 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	型理・解析手法/ 記活動の実際にで ための生体構造 に成した研究計画 程を経て、研究 で議論を重ねて/	こついて、演習 いて議論し演 ・機能等の測定 画書の内容に基 記目的に応じた	I で設定して 習する。 E法を活用し づき情報収集 成果をまとめ	作成した研究計 た研究について学 、データ取得、 うる。随時学生・	共同

と健科 学	学研究科保健科学専攻)	授業	科	目	Ø	概	要	
キ目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	:		講義等の内容			備考
	核医科学特論		医学検査の臨床的意理能、例如 () () () () () () () () () (意の所に 全15回) が 核 核 医 核 医 か と が と が な な 医 学 で と で と で な 医 腫 中 が な な と で と で と 学 が と が と が と が と が と が と が と が と が と	得く 最理 医 の 関析に の 関析に の 関が が が が が の 関が の 関が の 関が の 関い の の 関い の の 関い の の 関い の の 関い の の 関い の 関い の 関い の 関い の 関い の 関い の 関い の 関い の の 関い の の 関い の の 関い の の の の の の の の の の の の の	を含みつい 戊 と 向 ・ 究 の 向 ・ と で か ま で か ま で か の と と で の の の の の の の の の の の の の の の の	性薬剤の生体内動 医学機器開発に関する。 究動向、核医学治 の線量 を受治療の線量 する研究動向	
	核医科学演習 I		る撮像、処理の因う 手法に焦点を当て、 て習得する。放射性 究手法の論理的背景	子について文献 論文の論理的 性薬剤の開発や 景と実践的技法	にて理解する。 読解法やデータ 核医学画像の場 について教授で	また、核医学解析法を実 解析法を実 又集、再構成 ける。	践的な演習を通し 、解析に関する研	
	核医科学演習Ⅱ		核医科学特論と核 手法と技術を更に投 な読解、新しい診断 について教授する。	深求する実践的 新・評価方法の	な演習を提供で	よる。先進的		

	授	業	科	目	Ø	概	要	
保健科学研究科保健科学	専攻)	小型拉米						
△ 万	目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
放射線治療科学	学特論		放射線点をでが新点にのは、	らの動はなのきる。 が腐むるssupancaなののもの動はは外のではいるでは、 が腐むるssupancaなのでは、 が腐むないすででは、 が腐むないでは、 が変が、 が変が、 が変が、 が変が、 が変が、 が変が、 が変が、 が変が、 が変が、 が変が、 が変が、 がいまでは、 はいまでは、 はいななななななななななななななななななななな	向て等、QA)でとせる。必要等にはすけが、 をは、QA)でという。 をは、QA)でとる。必要等にはすけが、の学でで総数にはずりのできる。 要は、QA)でとる。 一学が、大きいでは、ないでは、大きいでは、大きいでは、大きいでは、大きいでは、大きいでは、大きいでは、大きいでは、大きいでは、大きいでは、大きいでは、たいでは、大きいでは、大きいでは、大きいでは、大きいでは、大きいでは、大きないでは、大きいでは、大きないでは、大きないでは、たらいでは、大きないでは、ためいでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、な	法論保持のの と集治療のの 集治療のの は集治療のの に対して にが にが にが にが にが にが にが にが にが にが	物理技術的、臨床 はを満足するための 治療における各分療 果を評価し、治療 を評価と、治療 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	
放射線治療科	学演習 I	/	(128 冨永裕樹/1	回)粒子線治療 の立案と最適化の を通りでは、治療計 、液質を関する 、 変素計測して 、 変素 事実に基づいて	における最新技 、線量計算、正 考え方と応用力 。 について知識 、際の臨床現場	画像誘導技術 方法について 線量計算、 と実行性を融 で遭遇するで	患者セットアッ 合させた演習を通 あろう種々の課題	オムニバス方式
		/	(オムニバス方式	/全15回)				
			(8 加藤貴弘/9回る文献抄読(基礎 (23 佐藤久志/3E (136 原田崇臣/3	 · 陽子線治療 立) 放射線腫瘍等	計画演習(基础学に関する文献	^{楚)} 抄読(基礎)	粒子線治療に関す	
放射線治療科	学演習Ⅱ		新の論文から高さい。 おいている。 おいている。 から、 から、 のいている。 のいている。 のいている。 のいている。 のいででにないる。 のいででにないる。 のいででにないる。 のいででにないる。 のいででにないる。 のいでではないる。 はいでではないる。 はいでではないる。 はいでではないる。 はいでではないる。 はいでではない。 はいでではない。 はいでではない。 はいでではない。 はいでではない。 はいでではない。 はいでではない。 はいでではない。 はいでではない。 はいでではない。 はいでではない。 はいではないではない。 はいではないではない。 はいではないではない。 はいではない。 はいではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	れた知識に 大知識に 大知識に が財験に 原体 ので ので ので で を は で を に ので ので で に ので で に る に ので で に る で に る で に る で に の で に の で に の の に の の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	いてその考売」 要な治療がごに でな治療がごに 最よ 計測な結果な で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	ちと応用方法、 最適化の 最適化の の見場で の見場でし、 で用)・ に応用)・ に応用)・ が、 が、 に応用)・ が、 に応用)・ が、 に応用)・ が、 に応用)・ が、 に応用)・ が、 に応用)・ が、 に応用)・ が、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、	線量計算、患者 な課題について取 て論理的考察につ るであろう種々の	オムニバス方式

	N + 4 F + 4 N -+ - 1	授	業	科	目	Ø	概	要	
科目	学研究科保健科学専攻) 授業科目の名利	*	主要授業			講義等の内容			備考
区分	医学物理特論		科目	は日進月歩であり、 決するために必要なる能力がも含に必要なる能力がも含に必要なる能力をあり、 会に関係のでは、 (8 加藤貴弘/2回)と応用 (10 久保均/1回) [(② 三輪建太/1回) (25 福田篤志/1回) (136 原田崇臣/1回 (34 鈴木義行/1回) (35 田巻倫明/1回) (124 大平新吾/1回) (125 角谷倫之/1回 (126 勝田義之/1回) (127 新井一弘/1回 (128 富永裕樹/1回) (128 富永裕樹/1回) (45 右近直之/1回)	新さ。物貢全15回物 断さ。物貢全15回物 断さ。物貢全15回物 断 質線 医外腺 神 動物 明 明 知 大なる特達 か の 原付調め の の 原介 原付調め の 原介 原付調め の 原介 原付調め の 原介 原付調め の 原介	成臨理放けの 概要 にほり という にいり にいり にいり にいり にいり にいり にいり で はい で はい か に い か は と い か は と い か は と い か は と い か は と い か は と い か は と い か は と い か は と い か は と い か は と か か は と か か は と か か は と か か は と か か は と か か は と か か は と か か は と か か は と か か は と か か は と か か は と か か は と な が の 最新動	限開論はやロー度 理 理 け ご 用 治 き と 層 見 の 後 術 や理め理一 外 学 学 る レ 療 応 学 番 磁 概 概 学 の の 医 用 習 磁 とと な 要 要 が あ と と あ で が で で が で で で で で で で で か で で で で で で	とおり、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	オムニバス方式
	医学物理演習 I			画像診断、核医学学物理特論での学療学物理特論での学習を表している。また、これらで論理的思考能力をを積み重ねることで(オムニバス方式/全(8 加藤貴弘/7回)(10 久保均/2回)「(② 三輪建太/2回)(25 福田篤志/2回)(136 原田崇臣/2回(136 原田崇臣/2回)	内容を身に保備 物理学題 (小の名の) の名の (大のる。 (大のるの (大のる) (大oo) (too) (to	けるために演演する 物理学に関連する。 本演習みにかける種々の はないではいいで、 でにおける種々の ではおける種々の ででで、 医学物理に関す を学物理に関する文献抄読	習を行う。画で 音を行う。画で 音を行う合的な 音を行う合的な に を行う合い で を行う。 ので に をのの課題 を解決 で を解する 文献が が まな な を の で を の の の の の の の の の の の の の	像診断学、核医学習といて演こと 課題は特別である。 議について演こと について演こと いて政り はみみを養う。 (基礎) (基礎) (基礎)	オムニバス方式

(保健科学研究科保	授 (健科学専攻)	業	科	目	Ø	概	要	
科目	授業科目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
医学物理	里演習 Ⅱ		画像診断、核医学 学物理特論射線 が物理学、放射、これを する。ま思、後つから 論理のは、幾一では、 過程を解決す (オムニバス) (8 加藤貴弘/7回) (10 久保均/2回) (② 三輪建太/2回 (25 福田篤志/2回 (136 原田崇臣/2回	習内容を学り保の 原物理学へのルドス のアルロリのルドス は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	けるために関連ないに、といいに関連ないに、といいに関連ないのでは、というないでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	を有数のは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	果題について演習で演習で演習で演習で演習で演りません。本演の理分野における。 売 (応用) 売 (応用) 応用)	オムニバス方式
臨床検査 臨床病理 学領域科 目	里学特論		析、さらには腫瘍性 ルマリが用いらのに ものが用いらのにもの 大かせななってAIは 本特論の細胞診断 (オムニバス方式/ (14 宇月美和/8回 臨床病理学研究の (26 梅澤敬/4回)	主疾患のからになった。 (表) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	深 解 制 制 制 制 制 制 制 制 制 形 の の 大 た も 疾 的 な が れ お け の に れ お け の に れ お け の に れ お に の に の の の の の の の の の の の の の	と基本にするととをないます。とをないますが、いって様々となってはますが、いって様々となっていまり、いったが、いったが、いったが、いったが、いったが、いったが、いったが、いったが	な手技で得られたとが診断や研究にとが診断や研究ルとが診断や研究ルにで標本のデジタル といいで理解していて理解して教授する。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オムニバス方式
臨床病理	里学演習 I		病理学はには帰った。 病理学にはになる。 が、さいでは、 がいてがいましていました。 がいたいないないでは、 がいたいないないでは、 をでいる。 がは、 がは、ないないないは、 をでいる。 がは、 がは、 がは、 がは、 でいる。 がは、 でいる。 がは、 でいる。 でい。 でいる。 でい	生疾患の治療にフィングでは、 フィンパクでは、 マンパクいる動では、 でいるのでは、 でいる。 は疾患や炎症 でいる。 を でいる。 を でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	深く関わる分野 や細胞診検体を 子発現の異ながら と でいれるよう 生疾患における 断的な研究方法	となってきたないに様ることをなって様ることではるというできた。これではいるというでは、これでもいいには、たいにはいいにはいいにはいいにはいいにはいいにはいいにはいいにはいいにはいいには	な手技で得られた とが診断や研究に ど標本のデジタル こ。 組織レベルで理 こついて、基礎的	共同
臨床病理	里学演習Ⅱ		病理学は従来の 析、さいでは腫瘍だった。 がレマが用いらのではいるのが用いないないが用いられていた。 たかせななっては腫乳でんにとするのでは細胞では、 を関するとして、 を関するとして、 を対しては腫瘍を はいなが、 はいなが、 はいなが、 はいなが、 はいなが、 はいなが、 はいなが、 はいないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないないない。 はいないないないないない。 はいないないないないないないないないないないないない。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	生疾患の カー カー サース カース カース カース カース カース カース カース カ	深く関わる分野 や細胞診検体を 子発現の異年に た、バーのまない を行われるよう 性疾患における 断的な最新の研	となってきた。となって様々に様るに様るこれですってをある。これではいるにもいる。これではないではいる。これではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	な手技で得られた とが診断や研究に ど標本のデジタル た。 組織レベルで理 レンドについて、	共同

	授	業	科	目	Ø	概	要	
(保健科学研究科保健科学専攻) 科目 区分 授業科目の名		授業			構義等の内容			備考
臨床微生物学特論		薬も対べ断()(剤耐性菌とその 感染症が集は人 策を適した研究 につるとした研究 本特論では、るた はを理解するた は、カムニバス方式。 (15 豊川真弘/9回 臨床微生物学研: (139 丹野大樹/6)	世界的蔓延が示っ 類におけるます。 大めには生なします。 ためにはははは生生の 生物の最新の研究フ (全15回) 1) での流れ、薬剤而	ように、医のでは、 変を課題のでも まずを第るこでも を利耐性、チャップローチになる。 対性機序とその	₹技術の進歩しりかんとつの変わりいる。 かとつい変でありいる。 かる。 き的特徴を与いて教授する。 か解析手法、クタート	、基礎医学を ぶに感染症迅速診 。 ぶした。 ぶした。 ぶした。 ぶした。 がした。 がした。 がした。 がした。 がした。 がした。 がした。 が	オムニバス方式
臨床微生物学演習 I		薬も対べ診	COVID19や梅毒に 剤耐性菌とその 感染症対策は人 原染を適切に行う 一スとした研究 本演習Iでは、 断法を理解する の内容について	世界的蔓延が示す類における最も重における最も重ためにはまずはれの重要性はますは、微生物の病原性、ための研究方法を	ように、医療 重要な課題ること す事を知ること 薬剤耐性、必 アトレンドにつ	を技術の進歩しいとつに変わりいる。 で学的特徴ならいて、基準的は、基準的は、基準的は、基準的に、基準的に、基準的に、基準的に、基準的に、基準的に、基準的に、基準的に	はない。感染症 、基礎医学を びに感染症迅速 Jな論文を読み、	共同
臨床微生物学演習Ⅱ		薬も対べ診	剤耐性菌とその 感染症対策は人 策を適切に行う 一スとした研究 本演習Ⅱでは、	世界的蔓延が示す類における最も重における最も重ためにはまずはれの重要性はますは、微生物の病原性、ための研究方法を	ように、医療 重要な課題ること す事を知ること 薬剤耐性、必 アトレンドにつ	を技術の進歩しいという。 という重要でありいる。 で学的特徴ならい。 で学いて、よりました。	はない。感染症 、基礎医学を びに感染症迅速 践的な論文を読	共同
臨床生理検査学特計		け社ど心吸切関の用いのの一般では、	る一番 (17 年) (14 平) (14 \Gamma) (14	便なのに・がなった。 (本) は (な) に (な)	経卒のと、 を主に、 を主に、 を主に、 を主に、 を主に、 を主に、 を主に、 を主に、 を主に、 を主に、 を主に、 を主に、 を主に、 を表に、 を表に、 をいる。 を表に、 をいる。 を表に、 をいる。 をい。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし	Eの増加は少年の増加はツカイン 1 E E S 等力、りを関うします。 と を を を を の の 環 器 か の 環 器 か の 環 器 か の 環 器 か の 環 器 か の 雨 解 お か れ が か ま で あ か れ が か ま で か か ま で か か ま で か ま	ペイント独宗 (本学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大	オムニバス方式
臨床生理検査学演習			心るない。 心る不整策上、 心る不整策上が前きを 管疾脈、もん治作器、 を発種の系・消するで 消化るの重は完な ででででいる。 はいるが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	梗塞題を へんしい できない できている できな しん でんしん いん でんしん いん	が かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	Eの増加エる 対 対 が が が が が が が が が が が が が	ペイント阻害薬なうが が循環に呼い が循環に が循環に が循環に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	共同

(保健科賞	授 (学研究科保健科学専攻)	業	科	目	Ø	概	要	
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
	臨床生理検査学演習Ⅱ		血管無法 ・ 一点 ・ 一。 ・ 一。 一。 一 。 一 。	梗なのに・が性心方 とにる系。すいといる。 といる系。すいといる系。 を表している。 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでも、 でいるでは、 でいるでも、 でいるでも、 でいるでも、 でいるでも、 でいるでも、 でいると でいるでも、 でいるでも、 でいるでも、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでも、 でしる。 でいるでも、 とっと。 でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	脳卒中や認知、発生を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	Eの増加はツース は は ツーカ は ツーカ に 日 を 等 さ と 生 的 の は か も を ま と と 践 的 な と 世 な 論 な と よ と よ と よ と よ と よ と よ か き か き か き か き か き か き か き か き か き か	イント限害薬は が、循病と ・し治療器系価・し ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	共同
	臨床血液学特論		貧血、造血器腫患の発症機序やある 学修発に関するする可能 (オムニバス 大/8 (13 小川一英/8 賃 負血の 田 将門/3 血栓止血 異常化 (138 三 連組/4 輪血・造血細胞	液形態学的血・輸生 を表示を患いするた をを追すするた /全15回) 団) 究へのアプロー 回) の病態と研究へ 回)	、免疫学的検査 ・ 金血細胞移植に関する ・ 金血細胞移動の研究へのア ・ 金血器腫瘍 のアプローチ	Eおよび分子生 見する最先端の 直分野における プローチにつ	検査法について 新規の検査法の き教授する。	オムニバス方式
	臨床血液学演習 I		本態と検えています。 本態と検えています。 で 所見深と関するに の 男子 で 所見深と関する に の 男子 法とも 方 / 3 正 血 液	考る連え考 /全15回) と 田検血 単衛 神 を 神 を 神 を 神 を 神 を 神 を 神 を 神 を 神 を 神	血、読つのた ・ 回・疾 回・病 の 同考 察 回・ 病 と 明 を	所の診断は 所の診断 が が が が が が が が が に は が に が を が が を が を が を が を が を が を が を が を が が が が が が が が が が が が が	症、輸血・造血 未知の事柄に関 な研究計画の立 につける。 腫瘍) 、文献抄読 こ)、文献抄読お	オムニバス方式、共同(一部)
	臨床血液学演習Ⅱ		本演習・IIでは、投資のようにでは、投資を研究がりなた。 である である である である できない できない できない できない できない できない イムニ バス 大 ス 大 ス 大 ス 大 ス 大 ス 大 ス 大 ス 大 ス 大 ス	学におけいない。 学におけいない。 ないないない。 まます。 はいないない。 はいないない。 はいないない。 はいないない。 はいないない。 はいないない。 はいないない。 はいないないない。 はいないない。 はいないないない。 はいないないないないない。 はいないないないないないない。 はいないないないないないないない。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	題を分子すったという。 関を分子すったののからに 全に かっと をを を かっと を を かっと を を かっと を で で の で の で の で の で の で の で の で の で の	で理解し間での の、で理解が開発では 一でいきを 一でいきを 一ででででででいます。 一ででは でででできる。 ででででは、 でででできる。 でででは、 ででできる。 でででは、 ででいる。 でででは、 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。 でいる。 でいる。	解決に向けてど 方法やトレンド に伝えることが た造血器腫瘍の	オムニバス方式、共同(一部)

	授	業	科	目	0	概	要	
(保健科 科目 区分	学研究科保健科学専攻) 授業科目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
	疾患生化学特論		のら治る段本が学め研 (16 本外の 17 が 18 が 18 から治る段本が学め研 (16 本外の 18 本の現の 18 からので、 18 本ので、	・思対、難がは、 は、 は	を的存を的高いできるいですが、	特代がり 研究 で で で が が が の で を を の で で を の で の を を の で で の に で の で の を の で の の の の の の の の の の の の の	いまだ残れて、 展題はついて、 をとう子研究を とからない。 ででするが、 をできるが、 にでをできるが、 にできるが、 にできるが、 にできるが、 にできるが、 にできるが、 にできるが、	オムニバス方式
	疾患生化学演習 I		展まった、かんやそい、たが、でによった演習を表示となる。 ではしょう でにない でにない でにない でにない でにない でにない でにない でにない	神和ととの 最どら明まなに 最新のようかをして 最新のようかをして がなにしくかいいて でを手なっている。 は一般で は一般で は一般で は一般で は一般で は一般で は一般で は一般で は一般で は一般で は一般で が はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	はじれ みをたかや重も 衆 28 曹 光後・ 28 を 28	研究分野る 中立に という でいまい さい でいまい でいまい でいまい でいまい でいまい でいまい で	、紹介	オムニバス方式、共同 (一部)
	疾患生化学演習Ⅱ		トも例では、 トも例で本学方すいで完成と形研き に、、ス 化定成と形研き に、、ス ので本学方すいで完な ので本学方すいで完な のでな研じを案の察、て実 ス の、、ス に、、ス の、、、ス が例で本学方すいで完な がの、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	 療各タさ、は2夕を2分では2分では2分での深よしれず2時でいた解をの出たで期でいます。 は2分の次よしれず2時では、2分では2分では1分では1分では1分では1分では1分では1分では1分では1分では1分では1	種れをなこ視雑のす、と 究 名にとてている (とて) で	対象と が は ない 大き を を が い 大き を が い 大き を が が ない 大き が が ない 大き が が ない かい	より網羅的な視察を含研究を表示の生物のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	オムニバス方式、共同 (一部)

/ I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		受 業	科	目	Ø	概	要	
(保健科 等 科目 区分	を研究科保健科学専攻) 授業科目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
特別研究	特別研究		ける一つの研究課題	題に対し、先行 画の立案、遂行	研究の調査おから研究結果の	よび現状の課 の考察、論文	高床検査学領域にお 果題の把握、研究目 に作成までの一連の 。	
			(① 矢吹省司) 運動器系の病態 能回復に関する研究			器障害の予防	ち・治療のための機	
			(2 柴 喜崇) 加齢に伴う生活 の方法及び効果判?				ご対する評価、介入	
			(3 森下慎一郎) 内部障害領域の 題とし、実践的な砂				- 段の確立を研究課	
			(4 五百川和明) 脳血管障害者の 護者の生活機能に				こと影響要因、要介	
			(5 林博史) 認知症における ション介入につい			特徴、効果は	的なリハビリテー	
			(6 倉澤茂樹) 神経発達症の障 術に関する研究指導		フステージに	おける発達調	果題、治療・支援技	
			(7 曽根稔雅) 高齢者および家カ 護、死亡) に及ぼ ⁻				(生活機能、要介	
				それらに対する	研究デザイン、		www.communications.com の	
			(9 高橋規之) 画像診断支援の7 導する。	ための医用画像	処理と知的シ	ステムの開発	* とに関する研究を指	
			(10 久保均) 様々な医用画像 の測定と解析及び 造・機能情報の描	その評価に関す	る研究の実践、	指導を行う		
				を用いて組織中	の診断・治療		質に指導を行う。ま P、開発した薬剤の	
			(② 三輪建太) 核医学技術および 関する研究指導を行		関する新たな	幾器、診断注	た、解析法の開発に	
							出血性素因や血栓性 の解析について研究	
			(14 宇月美和) 腫瘍性疾患や炎素 断的な研究方法に、			レベルで理解	¥するための病理診	

(保健科学研究科保健科学専	授	3	ŧ	科	目	Ø	概	要	
科目 区分 授業科目		主要授業科目	(14)			講義等の内容			備考
			迅 (患 (い発 (う (課 (手行 (に (算 (研 (ミ () K () を) が) が) が) が () に () の に い発 () の に ()	P臨済 爪ママ 久見連に 家因 部系 、 本ハレ 三動影 田障後 藤治い 月鳴一 田書に 睪疾研 木さ因 野床の しウー 精脈疾つ 美や 浩り実 泰ビン 幸を響 貴害予 久性て 女画シ 篤測つ 敬患究 英ミ・ 光検開 ぶみカ 巨波患い 恵予 明ハ践 出リド 志用に 昭や測 志を指 康像ョ 志をい や方 明ク病 俊体発 3や一 、のて)) が どめ テ、 いつ 股モ 上導 作にン 応て 炎法 ス態 をえ	は、世界では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	で	・マート を で	字の解析、感染症 子の解析、感染症 子の解析、感染 で 子の解析、感染 で 子の で で かっこう で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	

公立大学法人福島県立医科大学大学院保健科学研究科 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度		編入学 定員		令和7年度		編入学 定員		変更の事由
公立大学法人				公立大学法人				
福島県立医科大学				福島県立医科大学				
医学部 医学科 (6年制)	130	_	780	医学部 医学科(6年制)	130	_	780	
看護学部 看護学科	84	_	336	看護学部 看護学科	84		336	
保健科学部				保健科学部				
理学療法学科 作業療法学科	40 40	_	160 160	理学療法学科 作業療法学科	40 40		160 160	
診療放射線科学科	25	-	100	診療放射線科学科	25	-	100	
臨床検査学科 別科	40	_	160	臨床検査学科 別科	40	_	160	
助産学専攻	20	_	20	助産学専攻	20	_	20	
計	379	_	1716	計	379	-	1716	
公立大学法人 福島県立医科大学大学院				公立大学法人 福島県立医科大学大学院				
医学研究科				医学研究科				
医学専攻(4年制D)	60	_	240	医学専攻(4年制D)	60	_	240	
医科学専攻 (M) 災害・被ばく医療科学共同専攻	10	_	20	医科学専攻(M) 災害・被ばく医療科学共同専攻	10	_	20	
修士課程 医科学コース	5	_	10	修士課程 医科学コース	5	_	10	
修士課程 看護学コース	5	_	10	修士課程 看護学コース	5	_	10	
看護学研究科	_			看護学研究科				
看護学専攻(D) 看護学専攻(M)	2 15	_	6 30	看護学専攻(D) 看護学専攻(M)	2 15	_	6 30	
·自成すすみ(W/	10		00		10		50	
				保健科学研究科 保健科学専攻(M)	<u>16</u>	-	<u>32</u>	研究科の設置(認可申請)
計	97	_	316	計	<u>113</u>	_	<u>348</u>	